

RYUTOPIA MAGAZINE

2007 winter vol.11

アートを楽しむエンターテインメントマガジン りゅーとぴあマガジン

特集:

What's Noism?

- Noism Report
- 表現者たち
- プンダバ★オルガン
- パートナーショップ
- 感動の余韻
- イベントカレンダー

SPOTLIGHT interview

ケラリーノ・サンドロヴィッチ

感動は自由席。

 りゅーとぴあ
新潟市民芸術文化会館
<http://www.ryutopia.or.jp>

RYUTOPIA MAGAZINE

2007 winter vol.11

アートを楽しむエンターテインメントマガジン りゅーとぴあマガジン

SPOTLIGHT interview
ケラリーノ・サンドロヴィッチ

RYUTOPIA MAGAZINE 2007 winter vol.11 2007年12月1日発行
発行/りゅーとぴあ 新潟市民芸術文化会館 〒951-8132 新潟市中央区一番堀通町3番地2(白山公園内) TEL025-224-7000(事業課) <http://www.ryutopia.or.jp>

 りゅーとぴあ
新潟市民芸術文化会館

りゅーとぴあでは毎日いろいろな公演が催されていますが
 実はその中でコツコツと年間を通じて活動している
 専属のダンスカンパニーがあることをご存知ですか？
 名前は「Noism(ノイズム)」。新潟に誕生してもう3年がたちます。
 まだNoismの舞台に触れたことがないという方に
 身近に存在する芸術、Noismについてご紹介します。

Noism りゅーとぴあが、舞踊部門芸術監督に金森穂
 を迎えたことにより、劇場専属のダンスカン
 パニーとして2004年4月設立。日本初、ヨー
 ロッパスタイルのプロフェッショナル・ダンス・カン
 パニーとして、次々に発表する作品、企画はそのクリエイティ
 ビティの高さにおいて、日本のコンテンポラリー・ダンス界を
 リードし、常に各方面から大きな期待と注目を寄せられている。

特集

What's Noism?



● **芸術監督 / 金森 穂**

予算の管理、カンパニー運営・制作・広報の舵取り、公演の企画など幅広い業務をこなす。もちろん、演出振付家としての作品づくり、ダンサーとしての出演も。

● **バレエミストレス**

Noismでは今季4thシーズンより、初めて設置されたポジション。設立当初より在籍している佐藤菜美に任されている。バレエクラスの指導を行い、振付家の助手や芸術監督の補佐的役割を果たす。

● **正式メンバー**

Noismの活動で生活している、選ばれし精鋭たち。

● **研修生**

Noismリハーサルへの参加許可・義務がある。正式メンバー目指して研鑽の日々。

● **準メンバー**

Noismリハーサルへの参加許可あり。フルタイムでの参加義務はない。

写真前列左より / 佐藤菜美(バレエミストレス)、青木尚哉、金森穂(芸術監督)、井関佐和子、中野綾子。
 中列左より / 青木枝美、宮河愛一郎、高原伸子、原田みのる、山田勇気、堤悠輔、藤井泉。
 後列左から二人目より / 研修生 堀田千晶、藤井希、アン・ゼヨン。他、準メンバー。

Noismのロゴって誰がデザインしたの？

現代美術作家の高嶺格さんです。black iceで美術を担当されました。



Noismの後にしている数字って何？

2006年＝Noism06、2007年＝Noism07と、西暦と伴って変化する数字はNoismの進化を体現しています。

Noismの活動周期って？

2004年の立ち上げは4月でしたが、基本的に夏から夏で1シーズン。2007年8月に4thシーズンが始まりました。基本的に毎年8～9月に新シーズンをスタートしています。そして設立当初の活動期間3年間(2004年～2007年)が1stサークル。延長が決まった次の3年間(2007年～2010年)を2ndサークルと呼んでいますので、「W-view」はNoismの2ndサークル1回目の公演となりました。

カンパニーのピンチは？

2004年の新潟県中越地震です。black iceの初演を控え、舞台稽古をしていた最中に大きな揺れが。ダンサーたちは最初、「演出の一環かと思った」そう。しかし、「逃げる!」という芸術監督のただならぬ大声で客席に避難。当日は稽古を切り上げました。後日、中越地震チャリティ公演を行いました。

NINAの女性陣、髪が乱れませんか・・・？

シンクロの選手に習って、ゼラチンを使って固定しているのです。

海外ツアーで起こったハプニングは？

07年初頭に行われた北南米ツアー最初の地、チリはサンチャゴでの移動時に、ワゴン車の上に括り付けていたNINAの舞台美術の椅子が落ちたことでしょうか・・・。後続の車がなかったので事なきを得ましたが、その後4都市での公演が控えていただけに、乗っていた全員で冷や汗をかいた瞬間でした。

NINA

一物質化する生け簀

- 抑制された人形のような動きが逆に、物凄い生命力を放つことがあるのだと知りました。(30代女性)
- 最高に面白かったです。Noismはアルビレックスと並んで新潟の財産だと思います。(50代女性)



撮影／篠山紀信



撮影／篠山紀信

PLAY 2 PLAY—干渉する次元

○こちら側(一般客席)と向こう側(舞台上席)の2つの空間があると分かったとき、面白いなと思った。2つの時空、空間が本当に良かった。向こう側がどうなっているかどうしてとも知りたくなった。絶対に見えない空間・世界があるんだと深く考えさせられた。(20代女性)

そもそも、コンテンポラリー・ダンスって何？

モダンダンス以降出てきた新しいダンスの総称とされていますが、その定義は曖昧です。クラシックバレエの技術に基づいたもの、演劇的な要素が強いもの、映像を用いたメディアアートに近いもの、パントマイムを取り入れたものなど幅広いカンパニーや作品群が「コンテンポラリー・ダンス」と呼ばれる中、Noismは作品の芸術性・ダンサーの身体能力共にほかに類を見ない、日本を代表するカンパニーとして内外から高い評価を受けています。芸術監督・金森穰はNoismを「身体表現の専門家集団」と定義し、ジャンル分けやあらすじなどの前知識で理解しようとするのではなく、「Noismの舞台」そのものを体験してお客さま一人ひとりが自由に受け止めて欲しいと語っています。



ダンサープロフィール、過去の作品について詳しく知りたい人は・・・
りゅーとぴあに行ってNoismフリーペーパーをもらおう！(2F共通ロビーで配布中)

Noismの作品は決して若者だけに向けた前衛的なものではありません。

誰もがそこから何かを感じ取ることが出来るはずです。過去の代表作を公演アンケートとともに振り返ってみましょう。



撮影／篠山紀信

SHIKAKU

- この種のは初めて観た。とにかく素晴らしかった。(60代男性)
- 素晴らしい構成！ダンサー個人の技量に圧倒され、群舞の美しさに感動した。ダンスが、こんなに楽しく、切なく、心に響く芸術であるということ初めて認識しました。(30代男性)

black ice

- 光の使い方にいつも心を奪われます。希望、絶望2つを連想します。(20代女性)
- この作品、カンパニーは確実に世界に通用すると思うが、それが新潟からプロデュースされることも素晴らしいと思う。(男性)



撮影／篠山紀信

What's Noism?



撮影／瀬戸秀美

no-mad-ic project
7 fragments in memory

- ダンスの舞台を初めて観ましたが、想像以上に面白いものでした。(30代男性)
- 最初っから、涙。とにかく最高でした。(50代男性)



04年の芸術監督就任から満3年を過ぎ、2サークル目に入りました。

当初は「監督に」とだけ要請されたんですが、振付家として集団が必要だったのに加えて、専属の集団もないまま予算やラインアップを決めるような立場には、意義が見出せなかつたんです。それってすごく日本の劇場特有のあり方だから、そこに疑問を投げかけたい気持ちもあって、レジデンス・カンパニーとしてのNoism設立にこだわりました。

Noismのメンバーは、プロとしての生活・環境が保障されていますね。

踊りが職業として確立されていない日本ですが、仕事になった瞬間から、趣味ではなくれない苦勞や報酬、そして責任が生まれます。朝から晩まで毎日稽古をできると言うのは恵まれた環境に見えるでしょうが、同時に身体的にも精神的にもつらい。でもそうやって自分をみつめ続けた時に初めて、仕事としての表現や集団でのモノ作りを真に理解できるんです。Noismを支えているのは公的資金ですから、なおさら責任は大きい。最近ではメンバー

の態度、言動にも、その重さを理解しつつある様子を感じます。

金森さん自身の振付は、新潟に来たことで変わりましたか。

Noism以前と以降では、大きく変化しました。それまでは限られた時間の中で相手の力量を見極めなくては、いけないし、予めコンセプトや方向性を決めておかないと作品が完成しないので、たとえば「こういう女性がほしい」と思い描いた上で、当てるまる人を選んでいた。でも今は自分と同じことを経験したメンバーたちと連続性をもって作れるので、現場でのクリエイションが可能になりました。だから僕にとってかけがえないカンパニーですね。**芸術監督としてこれから手がけていきたい課題があれば教えてください。**

それはもう、本当にいろいろあります。専属のトレーナーやレッスン・ピアリストをつけたいし、メンバーももっと増やしたい。教育の問題にも取り組みたいし、チケット代を安くしたり学生を招待したりといった試みもしたい。ただ、たくさん壁があつてどれもスムーズに運ばないのが歯がゆいですね。

も悪くもインパクトを進めただけれど、今後は続けていくことの本質を問われる。しばらくはゲストの振付家を呼ばずに、私とメンバーとで、しっかりと向かい合つつもりです。ゲストを呼ぶ試みではレジデンス・

カンパニーのあり方を提示したわけですが、次はフォーカスを内側に絞って、みんななどの次元まで行けるかに賭けたいですね。**最後に、まだNoismを観たことのない人へメッセージをお願いします。**

金森 穣

“責任”と“喜び”を日々痛感しながら

Interview JO KANAMORI

取材・文／高橋彩子 撮影／村井勇

教育とは、たとえば。

現状では予算がないのですが、舞台人を育成する学校を作りたい。自分自身が、モリス・ベジャールという振付家の主宰する学校ルードラで、ダンスだけではなく演劇から音楽から、パフォーマンスに必要なものを学んだので、そういう内容をもった、安い授業料で学べる公的な学校が作りたい。そしてその卒業生が入れる場所を作りたいです。

プロではない一般的な教育でのダンスについてはどう考えていますか。
それも大切ですよ。Noismのメンバーは、子どものためにワークショップを行っています。今の社会では「痛み」を知る機会が少ないので、ワークショップでは例えば、1人が横になつてもう1人がその人を転がす。すると相手がどのくらい痛がるかとか、身体の重み、あるいは痛みから自分を守る術が学べます。そうしたワークショップも、身体を日々みつめている者でこそできるわけだからNoismのメンバーにとっても、舞台とつながった活動だと考えます。**さて、2月にはワシントンの**

ジャパン・フェスティバル、6月には新作初演が控えています。

ジャパン・フェスティバルではオーピングを飾る作品のひとつに決まり、公演の趣旨からしても光栄ですが、基本的には新潟でやろうと海外でやろうと気持ちちは一緒ですね。次の新作では長期公演に挑みます。スタジオで上演するので、至近距離で表現を体感してもらえそうです。テーマとしては表現がどの次元で成立するか、主客体の境界はどこか、といったことを構想中なんです。

今後Noismの名称の後ろには、年度がついていくのでしょうか。
そもそも数字をつけたのは、未完成の集団だから。目指すところとしては2サークル目が終わった2010年に、少なくとも納得の行くシステムを組むことができていて、それ以降も望ましいかたちで作れるようであれば、数字を取って「Noism」にしたいと思つている。実際にはどうなるかは、まだわからないですけども。**というところはこれから2010年にかけてがいよいよ、正念場。そうですね。1サークル目は良く**

劇場は生の空間だから、極端なことを言えば、いつ機材が落ちて人が死ぬかもわからない。そういう場所です生身の身体が何かを表現しようとしています。だから、楽しまなくてはいけなのではなく、何かがあるかわから

ないブラックボックスなんです。大事なものはその場に居合わせて、何かを「感じる」こと。日常にはないものが、そこには確かにあります。だから、とにかくまずはずび、劇場に足を運んでください。

What's Noism?



Noism
Noism Report vol.07
photo:Kishin Shinoyama

あらたに見えてきたもの

りゅーとぴあレジデンシヤル・ダンスカンパニー Noism 07

赤い星、白い星。恒星はそれぞれ成り立ちも輝き方も違う。人も同じだ。ダンサーも振付家も。

人によって作品の動きだけでなく、創作過程そのものが異なるという、あたりまえのことを強く感じたのが、今回の「W・view」だった。

安藤洋子と中村恩恵、コンテンポラリーダンスの最前線で輝くふたつの星、その好対照な魅力がスパークし、見たえのある公演だった。

第一部、安藤洋子作品「NinSiki」は、見た目の驚きから始まった。闇の中、空中に浮遊するクリオネのような物体。目をこらすとそれは舞台上の巨大スクリーンに映し出される人の体温。温感カメラで映し出した床の上のダンサーだった。建築家 荻部亮二の空間デザイン&コンセプト。三次元めいづばいに空間を活かし、さまざまな視点から、観客はダンサーの、ダンサーは自分自身の、動きと存在を認識する。あるときは客観的に、またあるときは主観的に。ダンサーとモノ、ダンサーとダンサー。最終的には人は人との関わりのおかげで、

自分自身を認識できるのかもしれない。第一部、中村恩恵作品「Waitz」。照明が作り出すダイナミックな場に、ひとりの男(宮河愛一郎)。金森穰と井関佐和子のデュエットは男の内面? 男の葛藤、焦燥、孤独、受容と拒絶が踊られる。能のような幽玄な時間の広がりを感じた。殺伐とした砂の山のような現代社会、天国のような野草のお花畑、時の永遠。廣田あつ子のドラマチユギーに沿って、ウィリアム・ブレイクの詩が、文字そのものと動き、文字の組み合わせが言葉になったときの意味合いと動き、二つの異なる方法で動きに変換されているという。

金森穰とも違う一を受け入れ、食欲に何かを得ようとしていた。

新潟公演の幕が開くと、金森穰、井関佐和子、青木尚哉をはじめNoism創立時からのメンバーはますます安定しエネルギーに満ちていった。若いメンバーも自信を持ち、この作品で大きく輝いた。

恒例になったアフタートーク。初日は安藤洋子と中村恩恵が登場。個性が違っても、ダンスに対する情熱とあくまでも自然で飾らない人柄に相通じるものを感じ、とても好きになった。これからも応援したい。

本作の国内公演に続き、新年2月、Noism 07はアメリカ・ワシントンDCでのジャパンフェスティバルに招かれる。その合間に来年の金森穰作品のクリエーションも始まった。新潟産SNSアメカゴ連載中の井関佐和子のブログによると「脳の使い方が違う」という表現があった。あらゆる経験から何かをつかむ無意識の意欲がNoismを高める原動力なのだ。

数村良子(しきむらよしこ)小説家 物書き

JAPAN! culture+hypercultureフェスティバル

2008年2月アメリカのワシントンDCで行われる史上空前の日本フェスティバルでNoism08は「NINA-物質化する生け贄」を上演します。舞踊の分野では他に新国立劇場バレエ団、山海塾、笠井勲氏、珍しいキノコ舞踊団が、また、演劇では蜷川幸雄氏、宮本亜門氏、狂言の野村萬斎氏などが招聘されています。音楽やデザイン、建築、ロボット、アニメなど舞台芸術のみに留まらない各分野の第一線で活躍するアーティストたちが集います。



前回スタジオ公演「sense-datum」より 撮影:藤山紀信

2008年2月7日(木) 19:30~ 2008年2月8日(金) 19:30~
会場:アメリカ・ワシントンDC ケネディセンター <http://www.kennedy-center.org/>

Noism08 新作公演 2008年6月りゅーとぴあスタジオBにて初演予定

ペトル・ヴドカレウさん

私のワークショップが きっかけになってくれれば……。



演劇を表現する道具のひとつは身体です。もうひとつは感情や感覚、精神といったもの。役者になるためには、どちらも常に意識して勉強していく必要があります。今回のようなワークショップだけで役者を目指すのはとても難しいので、日本に

もロシアのようにしっかりとした演劇を学ぶ学校の設立を望みます。今日の参加者の皆さんたちには、今日をきっかけにさらに深く演劇を追求して行って欲しいですね。



DULKA 捧康子さん

オペラをやっているので演劇の勉強もしたいと思って参加しましたが、演技のレッスンは初めてなので頭が真っ白になりました。なかなか思うように身体が動きませんね。でも先生の説明はとてもわかりやすく、演劇に関するヒントをたくさんいただきました。



芳賀めぐみさん

ペトルさんは、優しくさうだけど、一面厳しいところもあり、演劇人らしいなあと思いました。演劇に対する考え方についての講義もとても面白かったです。こんなふうには身体を動かすのは高校時代の演劇部以来ですが、またこういう企画があったら参加したいですね。



久保田慎さん

長岡の劇団AREA ZEROで役者をやっています。今日は真剣に遊んだ感じ。実技がとても楽しかったです。普段、芝居をやっているといういろいろな表現方法について考えすぎになってしまうんですが、自分の身体を信じて考えないで動くのもいいかなと思いました。



阿部幸恵さん

歌を歌ったり、文章を書いたり、自分を表現することに興味があったので、演劇をやってみたらどうなのかなあとと思い、参加しました。表現方法は違っても、何かを表現するときには「まず精神がありき」で芸術は共通するということがあったのが嬉しかったです。



取材・文:桑原知子 撮影:東浦一夫 ※このページでは新潟市で活動している団体を紹介しています。



役者に必要なことを 演劇理論と実技から学ぶ



ペトル・ヴドカレウ

演劇
ワークショップ

にいがたの
アーティスト
たちに迫る。

表現者
たち

モルドヴァ共和国の国立劇場ウジエヌ・イヨネスコ劇場の
芸術監督ペトル・ヴドカレウさんが
日本公演のため来日し、ワークショップを開催。
初心者向けクラスの様子をレポートしました。

演劇ワークショップというところと専門的で難しいイメージもあり、今回はあえて経験者向けクラスではなく、初心者向けクラスを見学。しかし、初めての人が参加する入門編という予想を裏切り、とても専門的な内容で構成されていた。

まずは、全員で輪になって座り、ディスカッション。「人間はどうして演劇をするのか」と、いきなり難しいテーマを切り出すペトルさん。ペトルさんいわく、「何かを表現する場合、必ず道具を使う。作家はペン、画家は絵の具。そして役者は身体」。「ではその身体は何でできている?」「見えないけど動きに必要なものは何?」次々出てくる問いを考えながら核心に迫っていく受講生たち。そして「身体を表現するには自分の身体をよく理解しないとイケない」という

ことで身体をいじめてみようと思いません(笑)という言葉で、全員スタンダアップ! 音楽に合わせてペトルさんの動きを見本にエクササイズを開始するが、見本の通りに身体を動かすのがとても大変そう。続いている実技では、軽くジヨギングしながらペトルさんの合図でポーズを決めてストップ、またはスローモーションで継続する動きをグループで表現。「これは演劇でもとても大切なコミュニケーションの関係づくりの勉強です」と、ペトルさん。そんな発言のひとつひとつが斬新で、演劇に対する新しいイメージが広がっていく。最後は目を閉じて音楽を聴きながら自由に自分を表現して、2時間以上にわたるワークショップが終了した。今回、演劇の真髄と可能性を学んだ受講生たちは、今後さらに演劇への興味を深めていくにちがいない。彼らの新潟での活躍が楽しみだ。

TOPICS
トピックス

りゅーとびあの専属オルガニストは演奏活動だけでなく、
たくさんの仕事があります。中でも、教育活動として力を注いでいる
オルガン講座等を通して、感じていることを山本真希が語ります。

新潟での務めも2年目に入り、オルガンを通してたくさんの素敵な出会いがありました。活動を応援してくださったり、楽器を愛してくださる方々の輪が、新潟でも少しずつ広まっていることは、私にとっての大きな喜びです。気付くと、市民講座や体験レッスンなどを通して、たくさんの市民の方と接することができました。

ドイツにいた時、こなさなければならぬ課題に追われて、「オルガンが好きで楽しい」と思えない時もありました。今、オルガンに興味を持ってひた向きに努力されている方々と接すると、自分がこの楽器の魅力に夢中になりだした時のことを思い出すのです。「先生」と呼ばれるのは未だに慣れないのですが、情熱を持って努力される方々に、オルガン音楽のすばらしさをお伝えできるよう、これからも一緒に歩んで行きたいと思っています。



特別講座の様子▲

公演情報・お知らせ

朝日酒造エントランスホール
クリスマスコンサート'07

- 日時:2007年12月24日(月・祝)14:00開演
- 会場:朝日酒造エントランスホール
- 料金:1,500円
- 山本真希(オルガン)新潟市ジュニア合唱団
海野美栄(合唱指揮)
- 曲目:J.S.バッハ/主よ、人の望みの喜びよ BWV147
グノー/アヴェ・マリア ほか

ニューイヤー・オルガン・スペシャル2008

詳しくは公演情報P28をご覧ください。

オムロンパイプオルガンコンサート
シリーズVol.34

- 日時:2008年2月23日(土)13:00開演
- 会場:京都コンサートホール大ホール
- 料金:全席自由 一般1,000円/高校生以下500円
- 演奏:山本真希
- 曲目:J.S.バッハ/前奏曲とフーガイ短調 BWV543 ほか

ホールアドバイザー松居直美企画
パイプオルガンガラ・コンサートVol.2

- 日時:2008年3月8日(土)14:00開演
- 会場:ミュンヘン・ザクセンホール
- 料金:全席指定 S席3,500円 A席2,500円
- 演奏:山本真希 ほか
- 曲目:M.レーガー/「ハレルヤ!ほむべき神はわが心の喜び」ほか

Meine Lieblings 私の気に入りたち
～ヨーロッパのオルガン特集～

第3回

ふいご



オルガンへの入り口

今回ご紹介するのは“ふいご”です。パイプに風を送る役割を担い、人間でいうところの肺の部分にあたります。これまで2回にわたってご紹介した、楽器の発音元になっている“パイプ”と演奏するための“鍵盤(演奏台)”。そして今回の“ふいご”という3つの要素がそろって初めて“パイプオルガン”と呼ぶことが出来るのです。



パリのサン・セヴェリン教会のふいごです。細い螺旋階段を上り“Entrée de l'orgue(オルガンへの入り口)”と書かれた戸びらを開けると、風をパイプに送り込む巨大なふいごがあります。このふいご部屋を通り抜けて演奏台に到着します。



【山本真希】大阪府出身。神戸女学院大学音楽学部、同専攻科卒業後渡独。ドイツのフライブルク、シュトゥットガルトでオルガンを学ぶ。第1回ドイツ・ランドスベルク国際オルガンコンクール第3位。2006年4月より、りゅーとびあ専属オルガニストに就任。新潟市在住。

ブンダバ★
オルガン

wunderbar Orgel

【りゅーとびあ】オルガン通信 vol.7

wunderbar(ブンダバ):驚くべき、素晴らしい

たくさんの方からご好評いただいているリサイタルシリーズ。次回まで待てない!という方には「オルガン・クリスマス・コンサート」をおススメします。リサイタルとは違ったオルガン音楽に出合えることでしょう。

9月に開催したりサイタルシリーズ第3回は「オルガン・ソナタ」をテーマにおくりしました。作曲家の様々な音楽語法と時代によって異なる形式や表現方法、またその様式が辿った歴史もご紹介したい思いをこめて演奏しました。ロマン派の大曲では、演奏だけでなく、全体を通しての音色の統一感が要求されます。演奏台から離れた客席では音色のバランスが違って聴こえてしまうので時間をかけて選びました。音色を決める「レジスト」という作業は演奏とは違った集中力が必要ですが、今回もそれ



お届けします。17世紀後半、北ドイツの大オルガンに相応しく、その地で発展した曲をご紹介します。青年バッハにも大きな影響を与えた「北ドイツ楽派」。華やかで大胆なスタイルをお楽しみいただければと思います。さて、リサイタルシリーズとはまた違った雰囲気でおくりする



クリスマスへのひと時を、オルガンの響きと一緒にお楽しみください!

第4回は来春開催予定です。グレンツィンクオルガンにとっても良くあう北ドイツの音楽をテーマに、美しい作品を私達のソロ演奏で、くくるみわり人形では、横山道子さんの朗読と共にクリスマスの夜に見たクララの素敵な夢物語をお届けいたします。明るくてワクワクするようなクリスマス曲のひと時を、オルガンの響きと一緒にお楽しみください!



オルガン・クリスマス・コンサート

日時:2007年12月21日(金)19:00開演
料金:全席指定S席3,000円 A席2,000円 ~発売中~
出演:三浦はつみ(オルガン) 山本真希(オルガン) 横山道子(語り)
曲目:ラウクヴィック《きよこの夜》チャイコフスキー《くるみわり人形》ほか
チケットのご予約・お問い合わせ:りゅーとびあチケット専用ダイヤル025-224-5521

公演情報



感動の余韻

Audience Impression

りゅーとびあ・1コイン・コンサートvol.31

2007.10.19コンサートホール

今回のコンサートは
印象に残るひとつです。
鈴木真理子さんの伴奏と4人の
若いソリストのますますのご活躍を期待しています。
次の機会も楽しみにしております。



鈴木悦子さん



はじめての1コイン・コンサート。
500円で価値ある1時間
を過ごすことができました。

前田有香さん

素晴らしい歌声でした。
歌詞はわからなくても伝わるものが
感動いたしました。
ありがとうございました。



大矢孝子さん

これから期待される
若い方々のコンサート。
**とても新鮮な感じで
楽しかった!**

打越彰子さん

りゅーとびあ・1コイン・コンサートvol.32

2007.11.2コンサートホール

**1コインでは申し訳ないくらいの
スペシャルコンサートでした。**
午後からの半日うっとりと過ごせそうです。
サクスがますます大好きになりました。

鈴木志織さん

サクソフォンは色気があって、
正統派の響きもあって
得がたい魅力のある
楽器だと思いました。

**うちの娘にも
聴かせてやりたいかったです。**

西條和佳子さん



今までとは違った公演でとても楽しめました。
今まであまり馴染みのないサクスが
素敵な楽器なのだなと思えました。

あけみさん、のり子さん、きょう子さん



“音楽レストラン”が
特に良かったです。

**イナパワーでの腰つきも
最高でした♥**

金子芳江さん、亜由美さん

りゅーとびあ・アフタヌーンコンサート

2007.9.14コンサートホール



マリンバ、リコーダー、ピアノ、
チェンバロがりゅーとびあで
**打ち上げ花火のように
光り輝いていました。**

又木良子さん



トークも最高でしたが
演奏がバラエティに富んでいて
**音楽って素晴らしい
と思いました!**

薩田美穂子さん



演奏はもちろんのこと、トークもすばらしく
大満足のコンサートでした!!
**お腹の子も喜んで一緒に
聴いていました♥**

入澤和央さん・博子さん



1コインで江崎さん、浜さんのファンになりました。
アンコールでは4人の皆さんでどう演奏されるのかと
思いましたが、すてきなブラスでした。

**1500円でこんなにすばらしい
演奏を聴けて大満足です。**

勝見裕子さん・浩代さん



Noism07 [W-view]

2007.10.5-7劇場



**非日常の世界に
どっぷり漬かれました。**

大島愛子さん

すんごくおもしろかった。
いろいろなことが同時に起きて
目が離せませんでした。Noismにはいつも
たくさんの面白さがつまっていて
大好きです。

小籠美沙子さん



空間が素晴らしい。
劇場が最高に作品を魅せる舞台でした。
金森穂さんのdancelは美しかったです。
Noismは洗練されている!

石野良子さん



Noismデビューで♥むちゃくちゃ見いっちゃいました。
なんでぶつからないの!?なんでそんなにステキなバディーなの!?
**引き込まれまくって、
ポオ~~~~としちゃいました。**
これからも応援してマス♥

サミーさん、チャミさん、メイさん

使って みてみて ハウマッチキョ



りゅーとぴあ 新潟市民芸術文化会館
〒951-8132 新潟市中央区一番堀通町3番地2(白山公園内)
TEL025-224-5621 (施設課) shisetsu@ryutopia.or.jp

2007年10月31日(水) 14:00

練習室1・2・3・7	¥2,600~3,400
練習室4	¥4,700~6,200
練習室5	¥5,800~7,700
練習室6	¥4,000~5,300

合計 ¥2,600~

※利用時間の区分は、
午前(9:00~12:00) 午後(13:00~17:00)
夜間(18:00~22:00)

**2,600円~練習室が
いろんなことに使えちゃう!!**

練習室は、楽器・合唱・演劇・ダンスなど、さまざまな用途にお使いいただけます。ピアノのある部屋、大きな鏡のある部屋、床が板張りの部屋...目的や人数によってお選びください。机や椅子を並べれば、会議室としても使えます。



▼練習室5

▲練習室3

▼練習室6

お申し込みは、6カ月前からとなります。
※会議でご利用の場合は、1カ月前からのお申し込みとなります。

Priceless Ryutopia

『りゅーとぴあ☆クリスマス』

今年もりゅーとぴあにクリスマスイルミネーションが点灯します。2階共通ロビーをイルミネーションとオブジェで飾ります。近くから眺めるのはもちろん、ガラスや鏡越しに見るのもキレイです。ぜひ、足を運んでみてください☆

☆期間:11月下旬~12月下旬☆



クリスマスの
イルミネーション
プライスレス

TeNY Ticket Information

<http://www.teny.co.jp/>

花

久保田一竹
「一竹辻が花展」

「幻の技法」といわれた「辻が花染め」を現代に蘇らせた久保田一竹。その代表作を一堂に展示。連作「光響」の連続展示はまさに圧巻です。



▲「富士山」より「穂(おん)」

「光響」秋~冬の30連作を一堂に展示



久保田一竹
(1917~2003)



2008年
2月23日(土)~3月23日(日)

新潟県民会館3Fギャラリー

開館時間 10:00~16:30(最終入場16:00) ※3月17日(月)は休館日

観覧料:一般 前売 900円・当日 1,200円
学生(小~高校生) 当日 600円

主催:TeNYテレビ新潟、読売新聞社、エフエムラジオ新潟(開局20周年)

※前売券は12月8日(土)より、JR東日本みどりの窓口・びゅうプラザ、ローソンチケット、セブオン他
新潟県内主要プレイガイドにて取扱い(2/22まで)

※展示作品は一部変更になる場合があります



▲「幻(げん)」桜の精が造り出す幻の花

ものまねエンターテメント

コロツケ コンサート2008



3月16日(日) 長岡市立劇場
昼の部 14:30開演/夜の部 18:00開演

全席指定 5,000円 12月8日(土) チケット発売

ミッフィーこどもミュージカル
「ミッフィーのせかいりょこう」

3月23日(日) 長岡市立劇場

1回目 11:30開演
2回目 14:30開演

前売券 2,300円
(当日2,500円)

12月22日(土) チケット発売

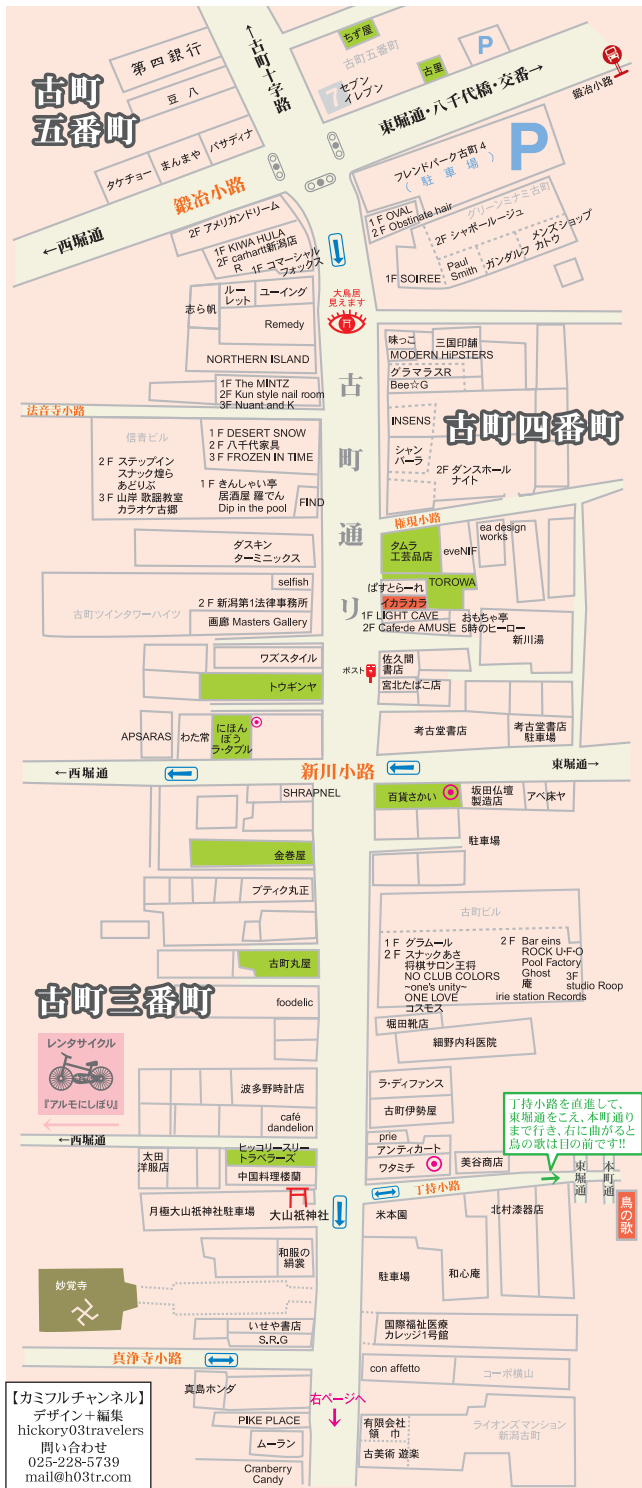


Illustrations Dick Bruna ©copyright Mercis bv,1953-2007 www.miffy.com

電話予約・お問い合わせ【TeNYチケット専用ダイヤル】(平日9:30~18:00)

TEL025-281-8000





【カミフルチャンネル】
デザイン+編集
hickory03travelers
問い合わせ
025-228-5739
mail:h03tr.com

かみふるまち kamifurumachi

カミフルチャンネル

白山公園からのびる古町通周辺、上古町地域(古町通一番町、一番堀通町、古町通二番町、古町通三番町、横一番町、古町通四番町)のことを伝える地図新聞がカミフルチャンネル。現在第6号をりゅーとびあ、ホテル、上古町商店街を中心に無料配布中!!ぜひ、手にとってお楽しみください。また、情報盛りだくさんの上古町の公式ホームページ、ブログもお楽しみ下さい。

【お問い合わせ】
上古町商店街振興組合(ワタミチ)
tel 025-225-0354 (11:00~16:00)
PC <http://www.kamifuru.info>
e-mail mail@kamifuru.info

【イカラカラ】

金属造型や陶芸など、新潟県内の作家さんが心を込めて作ったものを、展示・販売している、かわいくて個性的なお店です。鍛金作家でもある店長さんの工房も兼ねていて「カンカン、トントン」と通りに音が響いていることもあります。気軽立ち寄ってみてくださいね。

〒951-8063 中央区古町通4-567
◎11:00~18:00 水曜定休
TEL/FAX 025-222-0039
<http://ikarakaras.exblog.jp>



【ペロタクシーがやってきた!!】

ペロタクシー(三輪人力タクシー)の拠点が上古町にできました。ナビゲーターの観光ガイド付きで1時間3,000円。流しの場合は、大人1人500円まで300円、大人2人500円まで500円(追加100mごとに50円)と意外に利用しやすい価格です。ぜひ1度乗ってみてくださいね。

TEL/FAX 025-210-3377 <http://niibero.exblog.jp>



りゅーとびあ

パートナー・ショップ

りゅーとびあ周辺の「パートナー・ショップ」では、いろいろなサービスを用意してお待ちしています。公演チケットもしくは、友の会会員証を提示していただくだけで、お得なサービスが受けられます。店頭のにゅーとびあのマークのステッカーが目印です。今までに行ったことがなかったようなお店で楽しい時間をお過ごしください!!上古町には魅力的で個性的なお店がたくさんありますよ。

【お問い合わせ】
りゅーとびあ事業課
tel 025-224-7000 (10:00~18:00)
PC <http://www.ryutopia.or.jp/gourmet.html>
Mobile <http://www.ryutopia.or.jp/hp/ps>

【カフェ&居酒屋 鳥の歌】

演劇、音楽、映画好きが集まる面白い店。様々なイベント情報や企画などのチラシが置いてあり、いろいろなジャンルの人たちが交差する居酒屋です。「誰でも楽しめる店」ということでコーヒー一杯でゆっくりしていくのもOK。バリアフリーなので車椅子の方も大歓迎です!!こだわりのメニューも魅力的です。

〒951-8063 中央区本町通2番町191
◎17:30~24:00
日曜・休日定休
TEL 025-228-3080



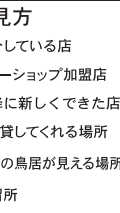
【パートナー・ショップ】

リバー・ジュ・茶蔵・とごころ天味・伝来飯店・カフェドブライム・TIO PEPE・そば処山風・旅館にしまよ・レストランキリン・パティントン・カフェ&居酒屋鳥の歌・横山美術・オーベルジュ古町・コンチェルト・BOOK OF DAYS・百貨さかい・金巻屋・ヒッコリーストリートラベラーズ・古町丸屋・にほんぼうラタブル・TOROWA・タムラ工芸品店・トウギンヤ・古里・ちず屋・三日月化粧品店・文武堂・六丁目・長谷久商店・マキシャリ井・香里鐘・バルム・ドコモ八千代店・RUSTICA・BACCO・布・棲み家・寿司の福神・花のれん

カミフルマチは県外の方からも好評です!!



この地図の見方
 ■ …今回紹介している店
 ■ …パートナーショップ加盟店
 ■ …前号以降に新しくできた店
 ⊙ …トイレを貸してくれる場所
 👁 …白山神社の鳥居が見える場所
 ① …バス停留所



チケット料金のお支払いが、さらに便利になりました!!

クレジットカード決済・コンビニ振替

りゅーとぴあ主催公演チケット代金のお支払いに、下記のクレジットカード、コンビニでの振替をご利用いただけます。

【クレジットカード決済】VISA MasterCard JCB Amex Diners Club

※N-PAC mateで会員カード以外でのお支払い希望の場合は、会員割引の対象外とさせていただきます。

【コンビニ振替】セブンイレブン ローソン ファミリーマート デイリーヤマザキ サークルK

お得な特典いっぱいの友の会

りゅーとぴあ新潟市民芸術文化会館友の会

N-PAC mate エヌ・バック・メイト Niigata City Performing Arts Center

会員
募集中

チケット10%OFF

他にも、チケットプレゼントやドリンク券プレゼント、DM送付サービス、公開リハーサルご招待、演劇バルへの登録など、お得な特典盛り沢山!!

チケット先行発売

エヌ・バック・メイト N-PACmateは2つのカードをご用意しています。生活スタイルに合わせてお選びください。

地球(世界)でつかえる!!

ワールドカード

りゅーとぴあ以外に、国内外の加盟店でショッピング等に利用できるクレジットカード



- 入会金/無料 ●年会費/3,150円(税込)
〈ショッピング〉国内のオリコ加盟店、国内外のMasterCard加盟店でご利用いただけます。
〈キャッシング〉オリコ提携のATM-CDでご利用いただけます。
〈各種特典〉各種プレゼントや国内外でアクシデントにあわれた際の各種傷害保障など、サービスが満載です。
●支払方法/1回払い、分割払い、リボルビング払い等
※ただし、チケットのクレジット購入は1回払いとなります。

りゅーとぴあ(会館)でつかえる!!

ハウスカード

りゅーとぴあのみで利用できるクレジットカード



- 入会金/無料 ●年会費/2,625円(税込)
〈キャッシング〉オリコ提携のATM-CDでご利用いただけます。

ご入会資格:18歳以上の方なら、どなたでもお申し込みいただけます。ただし、会員カードにクレジット機能を設けている関係で、(株)オリエントコーポレーションでの審査があります。(学生・未成年の方は親権者の方の同意が必要となります。)

お問い合わせは—りゅーとぴあ 友の会事務局 (10:00~18:00 土・日・祝日・休館日除く)

TEL 025-224-5631

(株)オリエントコーポレーションは、友の会運営のサポートを通じて、りゅーとぴあのご主事業を応援しています。
オリコカードの各種サービスについては、下記でもご覧いただけます。
<http://www.orico.co.jp/>



無料
配布中

ご覧の「りゅーとぴあマガジン」と公演スケジュールがギッシリつまった「エンタメカレンダー」はりゅーとぴあ以外にも下記にて無料配布しています。

新潟市役所、地区事務所、支所、連絡所、公民館、コミュニティーセンター、みなとぴあ、朱鷺メッセ、新潟ふるさと村アビール館、新潟県立図書館、新潟館ネスパス(東京)、長岡リリックホール上越文化会館、三条中央公民館、柏崎市市民会館、小出郷文化会館 ほか県内・県外文化施設など ●次号のりゅーとぴあマガジンvol.12は2008年3月発行予定です。

PRESENT!!

りゅーとぴあマガジン読者プレゼントコーナー

抽選で
30名様に
プレゼント!

今回の表紙から何を連想しましたか?

シンプルなデザインでも見る人の創造力で

素敵な図案となるのが手ぬぐいのおもしろいところ。

新潟の冬の空を見上げるとまさにこんな感じに

次から次へ雪がくっついて降ってくるんです。

一枚一枚丹念に手作りされている注ぎ染めの手ぬぐい。

濡れてもすぐ乾くので冬でも重宝しますよ。



写真はイメージです。実際とは異なります。

応募方法:住所、氏名、年齢、職業、電話番号と本誌の入手方法、ご意見・ご感想を記入の上、はがきかE-mailでご応募ください。

〒951-8132 中央区一番堀通町3-2「りゅーとぴあマガジンvol.11プレゼント係」 present@ryutopia.or.jp

応募者多数の場合は抽選、当選者の発表は賞品の発送を持って替えさせていただきます。

また、いただいた個人情報はプレゼントの発送のみに使用します。応募締切:2008年1月31日(木) 11:00必着

デザイン:ヒッコリーストリートラベラーズ 追一成(さこかずなり) 1978年福岡県生まれ。2001年クリエイティブ集団hickory03travelers結成。「日常を楽しもう」のコンセプトに基づき、Tシャツ、雑貨等のデザイン・制作・販売を一環して行う。その他、個展、アートイベントの企画・運営、商店街を面白くする活動など幅広くそして柔らかく活動中。 <http://www.h03tr.com>
製作:越後亀組藤岡染工場 <http://www.kamegonya.com>



交通のご案内

- 新潟駅より車で7分 ●新潟空港より車で27分
- 関越自動車道/磐越自動車道新潟中央I.C.より車で18分
- 新潟駅万代口よりバスで
「信濃町」行で「市役所前」下車徒歩7分
「新潟県庁」行で「陸上競技場前」下車徒歩5分
「昭和大橋経由・入船町」行で「白山公園前」下車徒歩2分

白山公園駐車場の案内

●白山公園駐車場A,B,C,D合わせて約600台

※身障者用駐車スペースを用意しております。

※りゅーとぴあには専用の駐車場がありません。なるべく公共交通機関をご利用ください。なお、自家用車は白山公園駐車場(有料30分100円)をご利用いただけますが、混雑する場合がありますので、あらかじめご了承ください。

駐車場のお支払いは、プリペイドカードがたいへん便利でお得です。2,000円のカードで3,000円分駐車場をご利用いただけます。りゅーとぴあ1Fの自動販売機でお買い求めください。

開館時間 9:00~22:00 休館日 第2・第4月曜日(祝日の場合は開館・翌日休)

<http://www.ryutopia.or.jp>

メルマガ配信はじまりました。

りゅーとぴあの最新情報はメールマガジンでゲット!!

パソコンから登録 ホームページ左下の赤いバナーをクリック!!

携帯から登録 QRコードで今すぐアクセス!!▶▶▶



お問い合わせ

- 館内案内・プレイガイド TEL.025-224-5622
- チケット専用ダイヤル TEL.025-224-5521
- 施設利用お問い合わせ TEL.025-224-5621
- N-PAC mate友の会事務局 TEL.025-224-5631
- 施設課 TEL.025-224-5611
- 事業課 TEL.025-224-7000

RYUTOPIA MAGAZINE 2007 winter vol.11 2007年12月1日発行
編集:りゅーとぴあ 新潟市民芸術文化会館 制作:株式会社 新交企画 デザイン:eight 林貴志、Frame 石川竜太 印刷:島津印刷株式会社

好評発売中!! 開催日迫る! お早めに!!

りゅーとぴあ能楽堂シェイクスピアシリーズ 第五弾「ハムレット」

■2007/11/28(水)・29(木)・30(金)19:00開演・12/1(土)14:00開演
■りゅーとぴあ能楽堂 ※12/1売切

全席指定4,000円(学生2,500円) ※12/7~9 東京公演あり
出演/河内大和、谷田歩、山賀晴代、町屋美咲、中井出健ほか

欲望という名の電車

■2007/12/1(土)19:00開演 ■りゅーとぴあ劇場
全席指定6,000円

作/テネシー・ウィリアムズ 翻訳/小田島恒志 演出/鈴木勝秀
出演/篠井英介、北村有起哉、小島聖、伊達暁 ほか
共催:TeNYテレビ新潟

第45回新潟定期演奏会 東京交響楽団

■2007/12/2(日)17:00開演 ■りゅーとぴあコンサートホール
S席6,500円 A席5,500円 B席4,500円 C席3,500円 D席2,000円

曲目:ハイドン:交響曲 第104番 ニ長調「ロンドン」、ラフマニノフ:パガニーニの主題による狂詩曲 作品43、
ストラヴィンスキー:バレエ音楽「春の祭典」
出演/シュテファン・アントン・レック(指揮)、小管 優(ピアノ) ※S、C、D席売切

クリスマスにおける レッド・プリースト コンサート

■2007/12/12(水)19:00開演 ■りゅーとぴあコンサートホール
SS席(ステージ上・自由席)6,000円 S席5,000円 P席2,000円

曲目:ヴィヴァルディ:「四季」、
バッハ:プレリュード長調、
ヘンデル:恋のアリア ほか
出演/世界一リコーダーを愛する男:ヒアズ・アダムス、
サイケデリック・ヴァイオリニスト:ジュリア・ビショップ、
パワフル・チェリスト:アンジェライネス、
自由奔放チェンバリスト:ハワード・ビーチ



共催:UX新潟テレビ21

花組芝居 KANADEHON忠臣蔵

■2007/12/14(金)19:00開演
■りゅーとぴあ劇場

S席6,000円 A席5,000円

脚本/石川耕士
演出/出演/加納幸和
出演/花組芝居役者連



劇団東京ヴォードヴィルショー「エキストラ」

■2007/12/20(木)・21(金)19:00開演
■りゅーとぴあ劇場

S席6,800円 A席5,800円

作・演出/三谷幸喜 演出補/山田和也
出演/佐藤田作、佐渡稔、石井愼一、
石井洋祐(Wキャスト12/20)、あめくみちこ、
角野卓造(客演/文学座)、
綾田俊樹(客演/東京乾電池)、
山口良一(Wキャスト12/21) ほか



共催:NST新潟総合テレビ

新潟市一横浜市連携事業 vol.2 「オルガン・クリスマス・コンサート」

■2007/12/21(金)19:00開演 ■りゅーとぴあコンサートホール
S席3,000円 A席2,000円

曲目:きよこの夜、チャイコフスキー:くるみ割り人形 ほか
出演/三浦はつみ、山本真希(オルガン)、横山道子(語り) 共催:UX新潟テレビ21

宮川彬良とアンサンブルペガ

■2008/1/5(土)11:30~17:00開演
■りゅーとぴあコンサートホール

「子どもたちへ贈る“アキラさんのお年玉”」
11:30開演(12:30終了予定)
全席指定500円
※コンサートを楽しく鑑賞できる4歳から中学生までの方
●付き添いの大人(高校生以上)は2,000円でご購入いただけます。
ただし、子どもと一緒に鑑賞のみ発券します。



宮川彬良

「りゅーとぴあニューイヤーコンサート」
17:00開演
S席4,000円 A席3,000円 B席2,000円

共催:UX新潟テレビ21

プラハ交響楽団

■2008/1/23(土)19:00開演
■りゅーとぴあコンサートホール

プレミアムシート13,000円

S席10,000円

A席8,000円

B席6,000円

C席4,000円 ※プレミアムシート、C席売切

曲目:スメタナ:交響詩「我が祖国」より“モルダウ”、
チャイコフスキー:ピアノ協奏曲第1番変ロ短調、
ドヴォルザーク:交響曲第9番変ホ短調「新世界から」
出演:イルジー・コウト(指揮)、中村絃子(ピアノ)



中村絃子

共催:TeNYテレビ新潟

能楽基礎講座(馬場あき子講座)20回記念「雪見能」

■2008/2/9(土)13:30開演 ■りゅーとぴあ能楽堂

S席5,500円 A席4,500円 B席3,500円

解説/馬場あき子(歌人) 能「竹雪」(喜多流)/塩野哲生
狂言「木六駄」(大藏流)/山本東次郎 ほか

チケットのお求め方【受付時間/第2・第4月曜日の休館日を除く11:00~19:00】

電話予約 TEL025-224-5521 (チケット専用ダイヤル)

- ①チケット専用ダイヤルへご希望の公演名をお申し出ください。
- ②お電話いただいた際に、最も良いと思われる席をいくつかオペレーターがご案内しますので、ご希望の席をお選びください。
- ③予約後、会館2階の「案内/ショップ」までお越しください。代金を清算後にチケットをお渡しいたします。
- ④チケットの郵送を希望される方は、オペレーターがご案内した口座にチケット代金と郵送料(100円)をお振込ください。(振込手数料が別途かかります。)入金確認後にチケットを郵送いたします。

ご存じですか? —その1—

りゅーとぴあでのチケット
購入の際は白山公園
駐車場の**駐車料金**が
30分まで無料になります。
ご購入時に
お申し出ください。

窓口販売

会館2階の「案内/ショップ」にて承ります。

**下記の注意事項をご了承の上、チケットをお買い求め
くださいますよう、お願い申し上げます。**

※未就学児童の同伴はお断りしています。小学生以上はチケットが必要です。
※お買い上げいただいたチケットのキャンセル・変更はできません。
※事情により、演奏者・出演者、演奏曲目が変更されることがあります。
※車椅子席はチケット購入時に申し出ください。

ご存じですか? —その2—

会館2階「案内/ショップ」の
窓口販売では、りゅーとぴあ以外の
団体が主催する公演のチケットも
お取り扱いしております。
どうぞご利用ください。

サポートシステムのご案内

託児サービス

小さなお子さまをお持ちの方も気軽にお好きな公演を鑑賞できるよう、託児サービスをご用意しています。公演により託児サービスを行わないものもありますので、あらかじめチラシなどでご確認ください。

りゅーとぴあ主催公演は、りゅーとぴあチケット専用ダイヤル(TEL025-224-5521)へ。

【料金】1人:1,000円 【対象】6か月以上の未就学児童

※公演日の2週間前までに申し込みください。※定員になり次第、締め切らせていただきます。

※お申し込み後にキャンセルされる場合は早めにお申し出ください。

公演日の2週間前を過ぎてのキャンセルは、キャンセル料1,000円を頂戴しますので、ご了承ください。

●りゅーとぴあ以外の団体が主催する公演は、各主催団体へお問い合わせください。

お申し込み

りゅーとぴあで公演を
主催される団体の方へ ●託児サービスは主催者でご用意ください。当館で保育者の紹介をいたします。(施設課025-224-5621)
●会館共通の施設のため、利用希望者が複数の場合にはご利用できない場合があります。

赤外線補聴システム

耳の遠い方、聞こえにくい方に赤外線補聴システムをお貸ししています。客席内に設置された赤外線送信機より、舞台上の音声や映像の音声などを送り、専用受信機によってこの音声聞くことができます。会館事務室でお貸ししますので、お気軽にお声がけください。

車椅子席

コンサートホール・劇場・能楽堂では、車椅子席をご用意しております。お申込は当館でのみ受付けますので、チケットをご購入の際に、その旨お申し付けください。

りゅーとぴあ劇場狂言 vol.8



狂言「鏡男」

狂言「骨皮」

テーマは「落語」です!

今回の劇場狂言のテーマは、落語になった狂言です。狂言と落語・・・両者に共通するのは、個性的な人物が多く登場する独特のナンセンスな笑いの世界です。後に「松山鏡(まつやまかがみ)」「金明竹(きんめいちく)」という落語の基になった狂言と、狂言を一人で演じる「独素狂言」をお届けします。演出も劇場ならではの空間を生かした趣向を凝らした内容でお楽しみいただけます。能楽堂とは一味違う「劇場狂言」をご期待ください。

解説・独素狂言(どくすきょうげん):野村萬斎
 ■狂言「鏡男(かがみおとこ)」:野村万之介、高野和憲、石田幸雄
 ■狂言「骨皮(ほねかわ)」:野村萬斎、野村万作、竹山悠樹、月崎晴夫、深田博治

S席6,000円 A席5,000円 B席4,000円

2008.3.12 WED 13 THU 18:30開演
 会場:りゅーとぴあ劇場

発売日:一般1月19日(土)・N-PAC先行1月12日(土)
 演劇パレ1月10日(木)

文楽公演



義経千本桜

主人公たちの健気な生き様に感動!

運命によるすれ違い、なかなか再会を果たせないふたり・・・。人形の表情に写る哀しみと喜びをご堪能ください。
 ■演目:昼公演「近頃河原の逢引」四条河原の段、堀川猿廻しの段 / 「義経千本桜」道行初音旅夜公演「伊達娘恋緋鹿子」火の見櫓の段、「生写朝顔話」明石船別れの段、宿屋の段、大井川の段
 S席4,000円 A席3,000円 B席2,500円 昼夜S席セット券:6,500円(限定100枚りゅーとぴあのみ取り扱い)

文楽ミニ講座

2008年2月3日(土)、10日(土)、17日(土)
 各回13:30~15:30
 講師/田巻明恒
 会場/りゅーとぴあ能楽堂
 参加費/無料

義太夫講座

2008年2月24日(日)、3月1日(土)、8日(土)、15日(土)
 各回15:00~16:30
 講師/鶴澤浅造
 会場/りゅーとぴあ練習室6
 参加費/1名3,000円(全4回)

「文楽ミニ講座」「義太夫講座」両講座とも往復はがきにて事前申し込みが必要です。詳しくはお問い合わせください。
 ■事業課 TEL.025-224-7000

2008.3.18 TUE 14:00~18:30開演
 会場:りゅーとぴあ劇場

発売日:一般12月14日(金)
 N-PAC先行12月12日(水)

※掲載内容は(財)新潟市芸術文化振興財団主催事業(2007年11月13日現在)の情報です。都合により変更することがございます。

さわってみよう能の世界



こども能楽体験ワークショップ

この春、りゅーとぴあ能楽堂を子どもの皆さんに大公開します! 能楽師が先生役になり、能舞台を歩いてみたり、能や狂言のせりふや動きに挑戦してみたり、能の楽器を試してみたりなど、楽しみながら能楽に親しむことができます。最後は能と狂言を鑑賞いただけます。

- 能の楽器にさわってみよう!(笛・小鼓・大鼓・太鼓)
- 能や狂言のせりふや動きに挑戦!
- 能装束の着付の実演 ■能や狂言を実際に見てみよう!

対象/小学生・中学生 ※同伴の保護者の方もご見学いただけます。
 定員/80名 参加費/無料(要申込)

往復はがきでお申し込みください。 往信ウラ面に、参加者の住所・氏名・電話番号・学校名・学年・足のサイズ(足袋をお持ちの方はご持参ください)・保護者同伴の場合は保護者名をご記入して、下記までお申し込みください。

■お申し込み・お問い合わせ先:りゅーとぴあ事業課「さわってみよう能」係 TEL.025-224-7000 主催:(社)能楽協会 北陸支部・(財)新潟市芸術文化振興財団

2008.3.28 FRI 13:00開始
 会場:りゅーとぴあ能楽堂

お申込み締切:一般3月7日(金)
 ※ただし定員になり次第締切になります。

「四人は姉妹」



私だって、幸せになりたいの!

「エデンの東」『南太平洋』の脚本家として知られるポール・オズボーンの戯曲「朝は7時」。この名作を演じるのは人生のさまざまなをたっぷり体験した最高に魅力的な俳優たち。彼らが描くのは、誰もが迎える人生の黄昏時を壮大に、そして優しく「謳い上げる人間賛歌」コメディ。9人の登場人物、その誰もがちっぽけな悩みを抱えています。その姿はまるで私たちの現実世界のような。「こんなことある、ある!!」と感じながらどんどん引き込まれていく・・・そんな舞台をお届けします。

作/ポール・オズボーン 訳・演出/青井陽治
 出演/岩崎加根子、水谷八重子、新橋耐子、安奈淳、宝田明、川津祐介、大村崑 ほか

S席7,000円 A席5,000円 B席4,000円

2008.3.29 SAT 15:00開演 30 SUN 13:00開演
 会場:りゅーとぴあ劇場

発売日:一般1月26日(土)・N-PAC先行1月22日(火)
 演劇パレ1月20日(日)

りゅーとぴあオペラ劇場2008
ローマ歌劇場オペラコンサート&レクチャー



F.エルナーニ



F.アンドレオッティ

3人のテノールと輝く新星ソプラノの競演!

ローマ歌劇場総裁によるレクチャーと3人のテノールによる極め付きのオペラ名曲選! ゲストには人気急上昇中のソプラノ砂川涼子を迎えます。

[レクチャー/16:00~]

■テーマ:「オペラの魅力と欠点・イタリアで生まれたオペラの歴史と現状」(通訳付)
出演:F.エルナーニ(ローマ歌劇場総裁)

[コンサート/18:00~]

■曲目(予定):ヴェルディ:《リゴレット》より「女心の歌」、ドニゼッティ:《愛の妙薬》より「人知れぬ涙」、《トウランドット》より「誰も寝てはならぬ」「お聞きください王子様」ほか
出演:F.アンドレオッティ、A.ビネッティ、B.ナコスキ(テノール)、砂川涼子(ソプラノ・客演)、山口佳代(ピアノ)、小鉄和広(司会・解説)
S席4,500円 A席3,500円 B席2,500円

協力:ローマ歌劇場 共催:NST新潟総合テレビ



A.ビネッティ



B.ナコスキ



砂川涼子

2008.3.15 SAT レクチャー16:00開演・コンサート18:00開演
会場:りゅーとぴあコンサートホール

発売日:一般12月1日(土)
N-PAC先行11月30日(金)

新潟市ジュニア音楽教室
第4回スプリングコンサート



ジュニア3教室による春の祭典!

名曲『カルメン』に挑むジュニアオーケストラ、川崎絵都夫氏による委嘱3部作を一度に披露するジュニア邦楽教室、春を高らかに歌い上げるジュニア合唱団の華麗な舞台をお楽しみに!

■曲目:ジュニアオーケストラ教室/ビゼー:『カルメン組曲』より、ベートーヴェン:序曲「エグモント」ほか
ジュニア邦楽教室/川崎絵都夫:子どもの四季、砂山ファンタジー、越後の子ども唄
ジュニア合唱団/小六禮次郎:合唱曲「子馬ものがたり」ほか

2008.3.30 SUN 14:00開演
会場:りゅーとぴあコンサートホール

入場無料・要整理券(お申込み方法は1月頃発表)

*掲載内容は(財)新潟市芸術文化振興財団主催事業(2007年11月13日現在)の情報です。都合により変更することがございます。

茂木大輔のオーケストラコンサート
No.4



茂木大輔

ベートーヴェン交響曲第7番・第8番
初演プログラム同時再演の試み

ドラマ《のだめカンタービレ》のテーマ音楽として大ヒット中のベートーヴェンの交響曲第7番を中心に茂木大輔が徹底解説!

■曲目:ベートーヴェン:交響曲第7番・第8番ほか
出演/茂木大輔(指揮・お話)、人間的楽器楽管弦楽団
S席4,000円 A席3,000円 A席2,000円

2008.4.6 SUN 16:00開演
会場:りゅーとぴあコンサートホール

発売日:一般1月18日(金)・N-PAC先行1月17日(木)

りゅーとぴあ能楽堂バックステージツアー



能楽堂をまるごと体験!

大好評のバックステージツアー。今回は新潟市内唯一の“能楽堂”をご紹介します。能舞台体験のほか、お能の鑑賞ガイドなどもあります。お能は難しそうという方は、まずここからスタートしてみてください。

対象:小学生以上(小学生のみの場合は保護者同伴が必要)
※動きやすい服装・履き物でご参加ください。未就学児の同伴はご遠慮願います。

500円(チケット制・N-PAC mate割引なし)

2008.1.18 FRI 19:00 19 SAT 13:00

会場:りゅーとぴあ能楽堂

発売日:一般・N-PAC 12月7日(金)

NYLON100°C 31st SESSION
「わが闇」



新たなナイロン100°Cを見逃すな!

待ちに待った書き下ろし新作を引っさげて、ナイロン100°Cがりゅーとぴあ劇場にやってきます。「消失」以来、2年ぶりの書き下ろし新作、豪華キャスト陣も勢ぞろいのナイロン100°C 31st SESSION。どうぞお見逃しなく!
作・演出/ケラリーノ・サンドロヴィッチ
出演/犬山イヌコ、みのすけ、峯村リエ、三宅弘城、大倉孝二、松永玲子/岡田義徳、坂井真紀、長谷川朝晴 ほか

全席指定5,500円

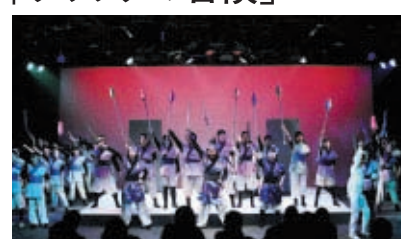
共催:TeNYテレビ新潟

2008.1.30 WED 31 THU 19:00開演

会場:りゅーとぴあ劇場

好評発売中

演劇スタジオ APRICOT 2008冬季公演
「グリックの冒険」



前回スタジオ公演より

キラキラ輝く笑顔がいっぱい

APRICOTはオーディションを通過した小学4年生から高校生までが、力を合わせて舞台作品を創っています。今回は人間に飼われていたシマリスのグリックが本当の家である「森」を目指して様々な困難を乗り越えて行く冒険活劇「グリックの冒険」を皆さまにお届けします!

原作:斎藤敦夫作・岩波書店刊「グリックの冒険」

2008.2.15 FRI 16 SAT 17 SUN 計5回公演

会場:りゅーとぴあスタジオB 公演時間 未定

入場料:無料(要申込)

音楽座ミュージカル「リトルプリンス」



あの「星の王子さま」がミュージカルに!

1995年当時、世界で唯一の独占ミュージカル化権を獲得した音楽座ミュージカルの代表作。実力派キャスト陣が名作「星の王子さま」の世界を華やかに、そして感動的に描きます。

原作/サン＝テグジュペリ著「星の王子さま」より
脚本・演出/ワームホールプロジェクト 出演/野田久美子 ほか
S席4,000円(学生2,500円) A席3,000円(学生2,000円) B席2,000円

公演直前にバックステージツアーを開催!

■日時:公演当日16:15~17:30 ■対象:チケット購入者 先着100名
■参加方法:往復ハガキかEメールで事前申込が必要です。
詳しくはお問い合わせください。 ■事業課 TEL.025-224-7000

2008.2.28 THU 18:30開演

会場:りゅーとぴあ劇場

発売日:一般12月15日(土)・N-PAC先行12月13日(木)・演劇バル12月8日(土)

ニューイヤー・オルガンスペシャル2008
 ニューイヤー・オルガンコンサート



山本真希

**2008年も
 オルガンを
 たっぷり
 楽しもう!**

ふたりの若手オルガニストがオルガンの定番曲から、アンサンブルやオーケストラの編曲まで、多彩な音色を持つオルガンならではのプログラムを披露。

■曲目:J.S.バッハ:小フーガ ト短調、トッカータとフーガ ニ短調、E.エルガー:威風堂々、サン＝サーンス:動物の謝肉祭より(オルガン連弾)ほか
 出演/浅澤久美(盛岡市民文化ホールオルガニスト)、山本真希(りゅーとびあ専属オルガニスト)
 全席自由500円(4歳以上入場可、小学生以下無料)

2008.1.13 SUN 11:30開演

会場:りゅーとびあコンサートホール

好評発売中

ジュニアのためのオルガン体験レッスン

2008年1月12日(土)

13:00~15:00

内容/オルガンについての初歩のレクチャーと20分程度の体験レッスン
 対象/小学5年生から高校生まで5名
 参加費/実技3,000円



オルガン探検ツアー

2008年1月13日(日)

13:30~14:30

対象/小学生以上60名

参加費/500円



思いっきりオルガン演奏体験

2008年1月13日(日) 16:00~18:30

対象/オルガン演奏経験者5名

参加費/4,000円(演奏時間30分/1人)

●申込方法/ハガキでの事前申し込みが必要です。

12月10日(月)必着。詳しくはお問い合わせください。

■お問い合わせ/事業課オルガンスペシャル係 TEL.025-224-7000

第46回新潟定期演奏会/東京交響楽団



飯森範親



庄司紗矢香

庄司紗矢香がストラヴィンスキーで登場

東響正指揮者の飯森範親と、1999年第46回/バガニーニ国際コンクールに史上最年少かつ日本人として初めて優勝後、ベルリン・フィル、ロサンゼルス・フィル、ニューヨーク・フィルと世界中で演奏している庄司紗矢香の共演でおくりする注目のコンサート。

■曲目:ベートーヴェン:交響曲 第1番 ハ長調、第2番 ニ長調、ストラヴィンスキー:ヴァイオリン協奏曲
 出演/飯森範親(指揮)、庄司紗矢香(ヴァイオリン)
 S席6,000円 A席5,000円 B席4,000円 C席3,000円 D席2,000円

2008.2.17 SUN 17:00開演

会場:りゅーとびあコンサートホール

好評発売中

※掲載内容は(財)新潟市芸術文化振興財団主催事業(2007年11月13日現在)の情報です。都合により変更することがございます。

りゅーとびあ・アフタヌーン・コンサート

vol.2「昭和の2大スター“美空ひばり&石原裕次郎”の世界」



樋口あゆ子



内田奈織



加藤明久

1コインの次はアフタヌーンへ!

平日午後明るく豪華なコンサートホールで本格的なクラシックをお手ごろ価格で楽しめるアフタヌーン・コンサートの第二弾。前半は昭和の2大スターのナンバーを、後半はクラシックの名曲をお届けします。

出演/樋口あゆ子(ピアノ)、内田奈織(ハープ)、加藤明久(クラリネット)

全席指定1,500円

2008.3.6 THU 13:00開演

会場:りゅーとびあコンサートホール

好評発売中

2008新潟定期演奏会/東京交響楽団 定期会員募集

新潟のクラシック音楽ファンに贈る多彩なオーケストラ音楽が楽しめる東響定期。来年度も聴き逃さないラインナップがそろいました。通常価格よりも約30%OFFというのも魅力的な定期会員は年に1回の募集です。ぜひこの機会にご登録ください。



ジャン・ジャン



リーリヤ・ジルベルシュテイン



金聖響



ピーター・ウィスベルグ



鍵富弦太郎



提供:ビクターエンタテインメント(株) 中村絢子

2008新潟定期演奏会:プログラム

- 第47回** 2008年4月27日(日) 17:00開演 出演/ジャン・ジャン(指揮)、イダ・ヘンデル(ヴァイオリン)
 ■ベートーヴェン:レオノーレ第3番 ■シューマン:交響曲第4番 ■ブラームス:ヴァイオリン協奏曲
 発売日:一般3月1日(土)・N-PAC先行2月23日(土)
- 第48回** 2008年5月18日(日) 17:00開演 出演/ユベール・スターン(指揮)、リーリヤ・ジルベルシュテイン(ピアノ)
 ■シューベルト:交響曲第1番 ■プロコフィエフ:ピアノ協奏曲第3番 ■シューベルト:交響曲第4番「悲劇的」
- 第49回** 2008年7月6日(日) 17:00開演 出演/金聖響(指揮)、澤畑恵美(ソプラノ)、竹本節子(メゾ・ソプラノ)、にいがた東響コーラス(混声合唱)、山神健志(合唱指揮)
 ■シューベルト/ベルリオーズ:魔王 ほか ■マーラー:交響曲第2番「復活」
- 第50回** 2008年10月19日(日) 17:00開演 出演/ドミトリ・キタエンコ(指揮)、鍵富弦太郎(ヴァイオリン)
 ■チャイコフスキー:歌劇「エフゲニオネーギン」ポロネーズ、ヴァイオリン協奏曲、交響曲第5番
- 第51回** 2008年12月13日(土) 18:00開演 出演/飯森範親(指揮)、中村絢子(ピアノ)
 ■J.S.バッハ/ヴェーベルン:6声のリチェルカレ ■ベートーヴェン:ピアノ協奏曲第1番 ■ブラームス:交響曲第2番
- 第52回** 2009年3月1日(日) 17:00開演 出演/大友直人(指揮)、ピーター・ウィスベルグ(チェロ)
 ■エルガー:行進曲「威風堂々」第1番、第2番、チェロ協奏曲 ほか

あなたのお席を1年間キープ! オーケストラの定期演奏会を毎回、自分専用の席で1年間を通して聴くことができる定期会員を募集します。一度確保したお席は次年度以降も継続して更新することができます。

2008年度定期会員券(6回分) S席30,000円 A席24,000円 B席19,000円

会場:りゅーとびあコンサートホール 2月16日(土)新規会員募集開始 ※事前にN-PAC mate友の会へのご入会が必要です。手続きには約1カ月かかります。



演劇、テレビ、映画、音楽……と多彩な才能を見せるケラリーノ・サンドロヴィッチ(以下KERA)氏が、主宰するナイロン100℃での3年ぶりの新作『わが闇』を書き下ろす。なんでも本インタビューが、この作品での最初の取材だとか。現在の心境と構想について、KERA氏の頭から形になったばかりの言葉たちをお届けします。

休筆を経て今、書き下ろす渾身の新作
ケラリーノ・サンドロヴィッチ

ナイロン100℃への新作書き下ろしは、04年の『消失』以来となりますね。

ナイロンの俳優もうまくなって、僕の本も膨らませてくれるようなメンバーばかりですが、集団って長く続けると行き詰って動脈硬化を起こすんですよね。それを避けるべく、これまで節目節目で様々な改革をしてきたし、俳優から意外な面を引き出そうと試みたりもしたけれど、『消失』でやり尽くした感があって、しばらく書くのを止めていたんです。

06年2月の『労働者M』の後、休筆宣言。ナイロン100℃の前回公演(※)で新劇人の代表格・岸田國士の戯曲を鮮やかに再構築なさったのが新鮮でした。

あれは、最近のナイロンからすると異色に見えるかもしれないけれど、少し前までSide SESSIONと称して実験的なこともやっていたので、僕自身はそんなに特別なことをやるつもりではなかったですね。ただ、いざ始めたら岸田國士の筆力に圧倒されて、簡単に手を入れることができず悩みましたけれども。



にもたれない和食」とか「今回は駄菓子づくし」とか、自作を食べ物に例えてみるんですね。そんなふうにいるいろいろな食材を使った様々な料理を作ってきたんですが、『わが闇』は、装置や設定は和風だけど食べてみるとこの料理かわからない、そんな感じかな。今後ナイロンは、僕を含めてオジサン・オバサンの集団になって

今回、ナイロン100℃にまた作品を書くというお気持ちになったのは何故でしょう?

『消失』の後に2作続けて再演ものをやったことで、書く労力がかからない分、集団を改めて鳥瞰的に見る余裕ができたんです。そうしたらやっぱりナイロンって、自分のやりたいことが一番間違いなくできる場所だなあと考えて来て。付き合いが長い分、互いの手の内を知り尽くしているから、ごまかしがきかないというか、こう、抜き差しならない緊張感があって、かえって馴れ合いにならないんですよ。休筆期間を設けたことは、新作『わが闇』にどんな作用を及ぼしていますか?

そうですね、今までは原稿用紙1枚に2つは笑いを入れようとか(笑)、そういうことを意識していましたが、『わが闇』ではかまじやりに笑いを取るのではなく、細やかな物言いや個々人の癖も面白さを扱おうかなあと。というか、コメディですらなくてもいいと思っています。そうしてもいいんだと思ったのは岸田國士の戯曲などを体験したからかもしれません。

具体的にはどんな作品になるのでしょうか。当初は葬式か通夜の芝居だと公言してたんですが、ありがちなんでやめまして。3人の姉妹を中心とする人間模様を通して、誰もが本来抱えているネガティブな部分=闇を肯定的に書きたいなと考えています。今の時代、ネガティブな発想は良くない、みたいな風潮ってあるじゃないですか。だけど、闇をもつ権利というか、形容矛盾ですが“後ろ向きの前向きさ”というか、そういう感情のせめぎ合いを描いてみたいですね。あと、笑いの構造について語る、僕の分身みたいな存在も登場させようとかか……。ナイロン100℃の新たな面が見られそうですね。ええ、これまでとかなり違うイメージだと思います。僕は「胃

いくわけで、その新しい地点に踏み出す一作目としていい方向性を見出せる気がします。

最後に、新潟公演への思いをお聞かせください。新潟は僕の父の出身地なので、子どもの頃よく来ていました。当時は朴訥な印象だったのに(笑)、りゅーとぴああって近代的な建物ですよ。何より嬉しいのは、劇場スタッフから演劇への愛情を感じる。観客の方々も定着して来たなあという感触があります。ナイロンにはいろいろな面があって、公演ごとにがらりと印象が違わずなので、最低3本くらいは続けて観ていただきたいですね(笑)。

※「犬は鎖につなぐべからず〜岸田國士一幕劇コレクション〜」

取材・文/高橋彩子 撮影/石川純

ケラリーノ・サンドロヴィッチ 劇作家・演出家・映画監督・ミュージシャン。82年にバンド「有頂天」を結成。85年に「劇団健康」を、93年に「ナイロン100℃」を旗揚げ、作・演出を手がけるほか、「KERA-MAP」「オリガト・プラスチック」などの演劇ユニットや、音楽ユニット「ケラ&ザ・シンセサイザーズ」でも活躍。りゅーとぴあではこれまで、ナイロン100℃「ノーアート・ノーライフ」「フローズン・ビーチ」「消失」「カラフルメリイでおはよ」、オリガト・プラスチック「西へゆく女」を上演。12月公開の映画「グミ・チョコレート・パイン」では脚本・監督を務める。パーソナルブログ「日々は雑日」http://blog.livedoor.jp/keralino